

歴史教室 三浦一族の歴史を歩くパート2 写真集

開催日時 2018年10月25日(木) 10時 京急北久里浜駅集合

参加者 講師 森敏晴氏(三浦一族研究会副会長)

川田勝利、吉田綾子、新倉仙太郎、稲本春雄、主藤珠江、行谷愛子、小島八重子
倉田直亮、友井眞言

コース 北久里浜駅(バス)→岩戸→満願寺→岩戸(バス)→北久里浜駅(タクシー)→舟倉
→怒田城址→久里浜駅(解散) 一部はカラオケ



まずはラジオ体操だいいち



満願寺で説明を受ける



佐原義連の墓

満願寺・佐原義連

満願寺は、源頼朝**拳兵**に一身を捧げた**三浦大介義明**の子、佐原十郎義連を開基とした寺院で義連の墓所でもある。

佐原義連は、世に名高い1184年(寿永3年)の一ノ谷の戦いのひよどり越え逆落として「このような崖は三浦では馬場のようなものだ」といって真っ先に駆け下り一番乗りを得たという。

衣笠城の東南に位置するこの地域に住んだため、佐原を名乗った。現在でもこのあたりは佐原という地名を使用している。満願寺は佐原十字路に近い岩戸という場所にある。山を後ろに控えてとても静かな境内には本堂、佐原義連の墓所、国の重要文化財である観世音菩薩、地藏菩薩を安置されている。源頼朝と共に戦い「鎌倉」を創った勇者の創建らしく、当初は現在の数十倍の広さを誇る大伽藍であったことが近年の発掘調査により判明している。

怒田城址にて



吉井貝塚の説明板

怒田城址

三浦氏により築かれたと伝えられている。海上活動を活発に行っていた三浦一族は、まさに「海の武士団」とでも言うべき集団で、怒田城址はその根拠地だった。衣笠合戦の折、和田義盛は「要塞堅固な怒田城で戦おう」と主張したが、大介義明は「衣笠城こそは世に聞こえたる城よ」とその意見を退け、衣笠城に籠り戦った。

おそらく衣笠城の落ちる寸前に三浦一族は密かに間道を通してここまで逃れ、隠しておいた船に乗って安房を目指したものとされている。船を置いた一帯には、「舟倉」という地名が残っている。現在この地は「吉井貝塚を中心とした遺跡」として、県指定史跡になっている。